

認知症初期集中支援チームについて

資料2

【目的】

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に初期に訪問等で直接関わり、早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する。
（「初期」とは認知症初期」と「対応初期」の意味を持ちます）

【対象】

- ①40 歳以上で、在宅で生活し、認知症（疑いも）の人で、適切な医療や介護サービスに結びついていない人
- ②医療や介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため対応が困難な人

【体制】

- ・直営とし、市地域包括ケア課が事務を担当
- ・6 か月間をめどに集中的に関わり、医療や介護サービスにつなぐ
- ・チーム員による身体的ケア、環境整備等の直接支援を行うことが可能
- ・力を尽くしても受診できないような場合はチーム支援が有効

【チーム員】

① 認知症サポート医

いしかり脳神経外科クリニック 橋本透 先生

石狩ファミリアホスピタル

【R6年度】河合剛多 先生

【R7年度】宇土仁木 先生

② 医療職と介護・福祉職のペア

地域包括ケア課、地域包括支援センター

認知症地域支援推進員、精神科病院看護職・福祉職

各場面で必要に応じ専門職に助言、本人への診察、訪問、主治医との連絡

支援対象者に合った機関・職種・人員を検討し、2 名以上でチーム員を構成

【認知症初期集中支援チーム検討委員会】

- ・年 1 回開催、石狩市介護保険事業運営推進協議会をあてる
- ・協議事項：チーム運営状況の報告、改善策の検討など

令和6年度 認知症初期集中支援チーム実績

	件数
認知症の相談延件数	559
チーム支援対象実人数	154
チーム支援検討実人数	1
チーム支援実人数	0（他の方法で支援を開始）

【評価・課題】

- ・認知症疑いの方を把握した時には、各包括から早期に関係機関への支援につなぐことができています。
- ・地域や関係機関等から各包括に相談がつながるよう、今後も事業の周知が必要である。
- ・本事業は、対象の検討、実施、評価、終了に至るまで、複数の様式に記入していくことが必要であることから全体的に時間がかかり、チーム員の依頼、招集なども通常業務がある中で行うことから、活用される事業にするには全体的な見直し、検討が必要と考える。

【今後について】

- ・認知症地域支援推進員、地域包括支援センター、認知症の医療や介護における専門知識を有する方などと本事業について協議をしていきたい。